



令和6年7月1日
目黒区立中町保育園園長

7月の園だより

湿度が高く蒸し暑い日が続いていますが、7月は水遊び、プール遊びが開始となり水に触れながら気持ちよく、楽しく夏の活動を行っていきたいと思います。

気温が高くなり、園庭やテラスで育てている夏野菜が育ち、次々と収穫の時期を迎えています。0歳児はトマトが赤くなる様子を日々子どもたちと観察しています。これが“トマト”ということは見て触って、そして食べてみて「トマトだね、おいしいね」という大人の共感とともに認識されていきます。1歳児もトマト（ミディ）を育てていますが、もうトマトを知っていて、収穫したトマトが給食でお皿に乗ったトマトと同じものと結びつき、いつも食べているトマトよりちょっぴり特別感があるようです。2歳児は収穫したきゅうりを目の前で調理してもらうことで、断面は丸いことや薄切りにして塩をかけると、しんなりとするのが分かりました。他にもナスやピーマンを栄養士や調理師に保育室で炒め味付けしてもらい、味わう前に匂いや音を感じています。どの野菜も収穫したてのものは味が濃いように思います。採りたての野菜を味わう、野菜本来の味を知るという経験が少ない中、保育園での体験はとても貴重です。夏の日差しを浴びてきれいな色をつけた旬の野菜を五感で感じて欲しいと思います。私たちの体は食べ物でできています。命をいただくということや調理する人への感謝の気持ちが育つように、食べることが好きで楽しいと思えるように様々な食育活動を進めていきます。

さて、今年も暑い夏になりそうですが、休養と栄養を十分に健康に留意して過ごせるようにしていきます。

行事予定

水遊び開始（0・1・2歳児）
プール開き（3・4・5歳児）
七夕（全園児）
笹焼き（3・4・5歳児）

中旬 身体計測
避難訓練



虫歯予防

歯が生えて離乳食が始まったら、歯磨きを始めましょう。子ども自身で磨けるようになって、親の仕上げ磨きを行いましょう。上の奥歯は寝た姿勢になると見えやすく磨きやすいです。東京都歯科医師会では10歳くらいまで仕上げ磨きを推奨しています。フッ素のむし歯予防効果は、歯の質を強化してむし歯のなり始めを補修してくれます。また、細菌の活動を抑制する働きもあり、むし歯を予防できます。

*3歳までは歯ブラシの事故が多いので
大人がそばで見守るようにしましょう。



環境教室

「楽しかった環境教室」

油面公園にて環境教室に参加しました。クリンくんにごみの分別や資源についての紙芝居を読んでもらったり、ごみの集積体験や収集車の助手席に乗る体験をしたりしました。紙芝居の後の分別クイズでは、ペットボトルや缶が燃えるごみ・燃えないごみ・資源のどれに当てはまるかを聞かれ「資源かな」「燃えないんじゃない」と考えながら、手を挙げていた子どもたちです。ゴミラスくんやクリンくんと触れ合いながら、楽しくゴミや資源について知ることができました。





おひさま縁日



「縁日に向けて」

おひさま組の子どもたちに縁日の話をすると、昨年参加した縁日が楽しい思い出として残っていたようで、すぐに「やりたい」という声が挙がりました。どんな店にするかの話し合いでは「遊ぶところがいっぱいあるよね」「食べ物屋さんもあるよ」といろいろなアイデアが出て『魚釣り』『ボール投げ』『輪投げ』『りんご飴』の4つのお店に決まりました。

グループに分かれて準備を進めていく中で、「魚は紙で作って、磁石でくっつけよう」「りんご飴はいろんな色紙とか綺麗な紙でたくさんのお味を作ろう」と話し合い、様々な素材を使って自分たちのイメージするお店を作り上げていました。また「小さい子が来たらどうしようか」「簡単なやり方も考えよう」というやりとりがあり、ボールの投げ方や輪投げの輪の大きさを変えるなど、自分たちで考えて工夫をしていました。「たくさんお客さんが来るかな」「楽しみだね」と期待をして準備を進めていました。

「当日の様子」

待ちに待った縁日がスタートすると、おひさま組の子どもたちは少しドキドキした表情で「いらっしゃいませ」と元気よくお客さんに呼びかけています。つき組が前半で後半はほし組がお客さんです。開店間もなくそれぞれのお店には行列ができ、まずは店員の子どもからチケットにスタンプを押してもらい「ここに並んでね」「もっと前から投げていいよ」と遊び方を伝えてもらいます。りんごあめ売り場では、カラフルなあめが並んでいて、どれにしようか悩む姿もありました。

最初は恐る恐るといった様子だったほし組や「どうやってやるの」と聞いていたつき組の子どもたちも、各店の遊び方が分かると自分からどんどん積極的に好きなお店を訪れ、リピーターになっていました。大盛況で縁日が終わると大満足な様子で「お客さんがたくさん来てくれて嬉しかったね」「お客さんも私たちもみんな楽しそうだったね」「みんな頑張ったよね」などの言葉が聞かれ、みんなに楽しんでもらったことが喜びや自信となりました。

